

薬研坂について



国道 246 号に接続する部分がとても急でマニュアル車泣かせの坂道です。国道 246 号接続手前部分（画像の停止線まで）がアスファルト舗装ではなくコンクリート舗装になっていることから、ロードローラーを使ってもアスファルト舗装が施工できないほどの急な斜面であると語ってくれています。坂の頂上から見下ろすと、坂の名前のおり薬を砕くための器具である薬研（やげん）に似て、見事なすり鉢状になっています。六本木のビル群も視界に入ります。この薬研坂が接続している国道 246 号の目の前にあるのは赤坂御用地で、江戸時代は紀州徳川家の土地であった場所になります。赤坂御用地もまた周囲の道は、安鎮坂、紀伊国坂、九郎九坂など多くの坂道で囲まれています。